

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市北部地域療育センター 児童発達支援事業		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65 (回答者数)	34
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	おこさんの様子やニーズに合わせた、環境設定や活動プログラムの提供。	一人ひとりのアセスメント結果を踏まえ、集団療育の中で個別的な発達支援を実施できるように、環境の設定（構造化・視覚提示）に留意している。 おこさんが意欲的に参加・取り組みができるように活動プログラムを設定している。	それぞれのおこさんに合ったさらに適切な環境を設定するために心理職や作業療法士等の専門職と連携をしながら、環境設定を行う。 おこさんが日々期待して登園できるよう活動プログラムの検証と更新に努める。
2	児童発達支援センター職員と連携した支援。	各グループに担当の心理職を配置し、専門的視点を踏まえた発達支援・保護者支援を実施。活動プログラムの立案から振り返りまで保育職と専門職が協働して支援を行う。	心理職の関わりを継続することに加え、さらに充実したアセスメント→活動プログラムが実践できるよう、他の専門職による関わりの充実をめざす。
3	所属園（地域の幼稚園・保育園）との連携。	所属園での様子を保護者から伺うとともに、必要に応じて所属園への電話連絡や訪問を行うなど、適応状況の把握に留意している。その上で、所属園での環境設定や視覚的援助について具体的な提案・助言等の連携に努めている。	各所属園において、一人ひとりの障害特性に応じた環境設定や関わりがなされ、充実した園生活を送れるよう支援の充実を図る。具体的には、施設支援や保育所等訪問支援、職員を対象とした当センターの見学会や研修会等を通して連携を強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報のわかりやすい周知。	・保護者研修会等の情報は、館内（廊下・部屋）掲示やアプリメールでの周知を行っているが、事前に意識して再度情報が得られているか確認が必要である。 ・災害時や緊急時、事故の際の対応・訓練について、契約時に重要事項説明書を用いて説明を行っているが、浸透していない部分がある。	・保護者研修会等の情報については、各グループ参加時に再度、口頭でも周知を行っていく。 ・災害時や緊急時、事故の際の対応・訓練については、毎年度グループ開始時に重要事項説明書を用いて、再度説明を行っていく。
2	保護者同士の関わりの機会の提供。	隔週に1回の頻度で懇談会を実施し、保護者同士の関わりの機会は設けている。しかし、十分な時間が確保できていないことや懇談会の内容を事前にきめていないことなどから、保護者の求める十分な情報共有等はできていないと考える。	保護者の方のご意見を伺いながら、懇談会として必要な時間や懇談会の内容として保護者の求めるテーマ設定の仕方等について再度検討する。
3	個人情報の取り扱い。	個人情報の取り扱いに関して、センター内で事故が発生したことについて、保護者に報告を行うとともに改善策についての説明を行いました。	個人情報の取り扱いに関して、現状の調査や外部講師による研修会の実施、所内マニュアルの再確認等を行った。事故の再発防止のために適切な取り扱いを徹底する取り組みを引き続き行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		川崎市北部地域療育センター 児童発達支援事業				公表日		令和7年 3月 31日		
						利用児童数		令和7年 1月 1日 65名 回収数 34		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	0	0	0	・人数に対して広いと思う。制作と運動で部屋を分けられているのも良い。 ・確保されていると思う。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	0	1	1	・十分目が届いているように思う。 ・適切だと思う。 ・職員が3名いるが、個別配慮が必要なお子さんがいる場合は手厚くして欲しい。	・グループ活動の中で密な個別対応を必要とする場面が生じた場合は、お子さんの状況に応じて適切な支援ができるよう職員間での連携を充実させていきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1	0	2	・数字やマーク、色などでわかりやすくなっている。 ・スペースが分かれていてわかりやすい。	・おこさんにとって分かりやすい環境設定・情報提供のあり方について常に検討と振り返りを行い、障害特性への配慮を充実させていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	0	0	1	・部屋が寒く感じるがあった。 ・活動しやすい部屋設定だった。 ・とても綺麗で過ごしやすい。	・空調の設定についてはおこさんや保護者の皆様にもご意見をいただきながら調整を行います。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1	0	0	・子どもに合わせた声掛けをしてきている。 ・受けられている。 ・まだ数か月の利用でわからない。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	1	0	・概ねあっている。 ・そう思う。	・支援プログラムは必要に応じて適宜見直しを行います。変更した場合は、皆様に変更内容を丁寧に周知します。		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	0	0	0	・アセスメントを汲み取って作成されていた。 ・保護者それぞれと面談して作成されていると思う。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	1	0	・概ねされている。 ・そう思う。	・今後も、お子さんの状況や家庭の生活環境を踏まえた適切な児童発達支援計画を作成するために、保護者の意向に留意しながら同意を得た上で内容を決定していきます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1	0	1	・しっかり行われていると思う。（2件）			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1	0	1	・様々な課題を毎回工夫して作ってくれていると思う。 ・子どもの慣れた活動と初めての活動がバランスよく設定されていると思う。 ・毎度流れは一緒にでも歌遊びが変更されたり、マンネリ化されないようになっている。 ・未回答 1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	3	5	7	・交流の機会がある。 ・未実施 ・幼稚園ではトラブルがあったりするため、あまり参加できていない。	・短時間グループは地域で所属園を持つ併行通園のお子さんを対象としています。グループとしての交流は設定していませんが、所属園で充実した生活ができるよう他の専門職と連携しながら施設支援等を充実させていきます。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	1	1	・時間をとって説明されていた。 ・契約会の際にあった。	・契約時に重要事項説明書を用いて説明をさせていただいています。今後もわかりやすい説明を行います。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	0	・説明されていた。（2件）			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	5	0	6	・研修会があるのは知っていたが、ペアトレは知らなかった。受けたかった。 ・研修会はないが、動画の提供や懇談会はある。 ・情報をもらうことがあった。 ・毎度、子どもとの接し方等を保護者分離で教えてくれている。	・家族支援の充実に向けた取り組みを引き続き進めています。保護者向け研修会や講座等の案内については、今後も館内掲示・アプリメール・ホームページ上で周知するなど情報提供に努めます。 ・保護者のニーズの把握に努め、ニーズを反映させた企画の開催を進めていきます。		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	1	0	0	・気になることがあると保護者より声をかけることが多い。 ・保護者と共通理解はできているが、園と共通理解できているか不明。 ・支援終了後に毎回話ができる。 ・そう思う。	・グループ支援の前や保護者懇談会などを利用して、さらに共通理解を深めるために保護者とお話をする機会を設定していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3	0	0	・いつも不安等を聞いていただけて助かっている。 ・普段の様子を話したときに助言していただくことが多い。 ・希望すれば面談でき、相談にも乗ってもらえる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	0	0	・寄り添ってもらっている。 ・そう思う。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	12	2	7	・きょうだいへの支援やイベントがあるとうとても嬉しい。 ・保護者同士の交流がもっとあれば良かった。卒業しても交流があると良い。(2件) ・懇談会で他の保護者の話を聞く機会はあるが、その他はない。 ・きょうだい同士のイベントはない。 ・未回答2	・現在、父親交流会など保護者同士の関わりを増やすためのイベントを開催しています。こうしたイベントの目的や想定される効果などについて、さらにわかりやすく周知することで参加者が増えるよう取り組んでいきます。 ・その他、頂いたご意見を基に検討を行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	3	0	2	・支援前後や医師の方と会うとき以外で申し入れをしていない。 ・対応してくれている。 ・未回答2	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	4	0	1	・そう思う。 ・人によって情報が異なることがあった。 ・担当SWの変更があり、相談しづらくなった。 ・未回答2	・保護者への情報提供については基本的に公平性に留意します。また、保護者の状況等に応じた個別的配慮にも留意してまいります。 ・SWの変更については、担当間での引継ぎを十分に行うと共に、安心して相談できるよう丁寧な対応に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	9	1	8	・ホームページ等を見る機会がない。(2件) ・行事内容は予め知りたい物もある。 ・未回答2	・ホームページで、定期的なおたより（ほくほく通信）や自己評価結果等を公表しています。 ・ホームページで発信している情報についての案内を適宜行うようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	1	3	・特に問題ないと思う。 ・そう思う。 ・個人情報の取扱いに際し、所内で研修やマニュアルなどを準備いただき、徹底して欲しい。 ・未回答2	・個人情報の取り扱いに関して、外部講師による研修会の実施や所内マニュアルの再確認等を行い、適切な取り扱いを徹底する取り組みを進めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	4	0	8	・説明を受けたが、訓練の機会はなかった。(2件) ・未回答2	・各種マニュアル等は策定済みですが、訓練についての具体的な説明やマニュアルの周知方法等について検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	4	0	11	・訓練がないためわからない。 ・訓練を行っていない。 ・未回答3	・センターとして月1回訓練を行っていますが、短時間グループの皆様は療育時間も限られているため、参加をしておりません。 - ビデオ視聴による訓練を実施するなど、訓練の内容や方法等について検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2	0	7	・説明を受けた。 ・そう思う。 ・未回答2	・策定した安全計画の内容を周知するため取り組みを充実させていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	3	0	9	・初回に説明された。(2件) ・未回答2	・事故や怪我が発生した場合の連絡方法等については、年度当初に説明するとともに、随時周知の充実にも努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	1	0	0	・安心感はあると思うが、プログラムによっては嫌がるときもある。 ・そう思う。 ・未回答2	・プログラム内容を適宜検討し、安心感や期待感を持って通所してもらえよう環境設定を行います。

満 足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	3	0	1	・楽しく通園できており、療育での学びも多い。 ・日々成長を感じている。 ・今のところ楽しく通っているが、楽しみにしているかはわからない。 ・とても楽しくて早く行きたいと言っている。 ・とても楽しみにしている。 ・楽しみにしていたが、直近は少し嫌がるそぶりがあった。 ・未回答2	・お子さんに楽しみに通所していただけるよう、発達特性に応じた声掛け・説明方法に留意するとともに、発達段階に応じたプログラムの充実に取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	0	0	0	・概ね満足している。 ・とても満足している。 ・支援が必要と感じているが、就労の都合もあるため、曜日の希望を聞いて欲しい。 ・未回答2	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市北部地域療育センター 児童発達支援事業			公表日		令和 7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	建物が古いため、使用しづらい部分もあるが、工夫しながら使用している。	引き続き、必要な修繕や環境設定を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	療育のねらいや活動内容に応じて、使用する部屋を決定している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	できる限りその日のうちに振り返りを職員間で行っている。	回答なし1 職員間で行われているPCDAサイクルのイメージがつかず、未回答があったと思われます。業務のイメージをわかりやすく説明するようにします。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		回答なし1 業務内容の把握をもう少ししていただきたいとの意見があったため、主任等が会議に参加し把握できるように努めます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	職員個人が興味関心のある研修を探し、参加することができる。 経験年数別研修や委員会活動での研修等、多岐にわたり確保されている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	多職種で連携をしながら、支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		回答なし1 統一したアセスメント用紙を使用したアセスメントを行っています。職員間で認識が不十分だったため、未回答と思われます。周知を徹底します。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	プログラムを立案するためのミーティングを多職種で設定している。そのため、より個々に合わせたプログラムができていくと思う。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	発達支援に沿ってプログラム・経験を積み重ねられるように工夫している。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	活動内容やお子さん1人ひとりの支援の振り返りを行い、次回の活動プログラムについて話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	所属園での様子確認や、必要に応じて訪問をする等している。	引き続き、地域でのより良い過ごしを目的として保護者の方より様子を伺ったり、電話連絡や訪問を行って情報共有を行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		文書や電話連絡等での情報共有に加えて、特別支援学校教諭に來所していただき、直接児童状況等説明するなど行っていますが、さらにより良い方法を検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	5	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		回答なし2 センターのソーシャルワーカーが参加をしています。職員への周知が不十分のため、未回答があったと思われます。十分な周知をします。
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	0	日常的な連携を図ることができている。専門職やSW等に適宜相談し、アドバイスをもらう機会がある。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	保育園、幼稚園への所属があるお子さんのため、日々交流があります。	全てのお子さんが併行通園児であることから交流の機会は確保されていると考えています。引き続き、施設支援や保育所等訪問支援で所属園との連携を充実させていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	共通理解ができるよう毎回個別に保護者とやりとりをし、プログラムのねらいや様子を伝え、保護者からは日々の様子を伺っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	多職種と連携しながら必要な助言・支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		回答なし1 保護者交流の場を療育内で設けていますが、職員への説明が不十分であったため、未回答となったと思われます。職員への周知を行います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	多職種とチームで連携を図りながら迅速に対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱い等に関する研修を実施した。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	地域の方々に自由に参加いただけるよう作品展を実施しました。 また、地域の行事（片平こどもフェスタ・麻生福祉まつり）に参加しました。	回答なし1 地域に開かれた事業運営の実態について職員周知が不十分だったため未回答等があったと思われます。十分な周知を行います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		重要事項説明書等で、防災訓練の実施等については保護者へ周知を行っています。引き続き、ご理解いただけるような周知を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		